

特例制度で保育支援

公庫八重山支店 石垣エスエスに



沖繩振興開発金融公庫の比嘉努八重山支店長（左）と石垣エスエスグループの大浜一朗社長＝15日、同支店

【石垣】沖繩振興開発金融公庫八重山支店（比嘉努）支店長は15日、沖繩ひとり親雇用等促進貸付利率特

例制度（ひとり親雇用等特例）を適用して、石垣市内でガソリンスタンドなどの事業を展開する石垣エスエスグループ（大浜一朗社長）に企業主導型保育施設設置のための融資を実行したと発表した。特例制度を通じて企業主導型保育施設整備資金を融資したのは県内2例目で、離島では初めて。

石垣エスエスグループは4月に企業主導型保育所「クローバーキッズクラブ」を開所した。2018年度は0～2歳児30人を受け入れ、19年度からは0～3歳児（定員42人）の保育を実施する。従業員枠と同数の地域枠がある。従業員からの要望に応え、午前7時30分～午後8時30分の最長13時間保育を実施するほか、土日・祝日も開所する。

総事業費は1億円超で、公庫は設備・運転資金として4500万円を融資した。ひとり親雇用等特例の適用により、本来利率から0・2%が控除される。

15日の会見で大浜社長は「地域支援と福利厚生充実のために開所した。子育て支援が人材確保につながってほしい」と語った。比嘉支店長は「雇用環境改善のためにも、石垣・八重山で特例制度を活用してエスエスグループに続く企業が出てきてほしい」と今後に期待を寄せた。

保育所設置で融資

沖縄公庫特例 石垣エスエスへ

【石垣】沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）はこのほど、石垣エスエスグループ（石垣市、大浜一郎社長）の企業主導型保育施設設置に向け「沖縄ひとり親雇用等促進貸付利率特例制度（ひとり親雇用等特例）」を適用し融資を実施した。融資額は設備資金2500万円、運転資金2千万円の計4500万円。保育所設置では県内2例目の

適用で、離島では初という。

同特例は子どもの貧困対策の総合的な推進を目的とした公庫独自のもの。「ひとり親家庭の就労支援」「非正規雇用者の処遇改善および保育サービスの利用促進による子育て支援」に必要な要件に合う融資の金利負担を軽減する。同社は内閣府の「子ども子育て支援新制度」を活用し企業主導型保育所「グローバ

ルキッズクラブ」（定員42人）を4月に開所。0〜3歳児対象で、土日祝日の開所や最長午後8時半まで預かるなど従



「ひとり親雇用等特例」の適用で融資を受け、比嘉努支店長（左）と笑顔を見せる石垣エスエスグループの大浜一郎社長（右）。石垣市・沖縄振興開発金融公庫八重山支店。

業員への調査から要望をくんで運営に生かしている。

沖縄公庫八重山支店の比嘉努支店長は15日の発表で「仕

事と育児の両立へ発展的に展開する企業は少ない。制度を活用し八重山で石垣エスエスに続く企業が出てほしい」と

期待。大浜社長は「制度の活用で他企業もどんどん参画し、子育て支援や人材・雇用に確保につながれば」と述べた。